



AI カメラによるリユース品回収ボックスの課題解決と 価値創出に向けた共同研究の実施について

資源循環の促進と新たな価値創出のため、本市及び慶應義塾大学を中心に、本市と包括連携協定を結ぶブックオフコーポレーション株式会社（本社：相模原市南区古淵）を加えた3者が連携し、生活雑貨などの不要になったものを回収するリユース品回収ボックス「R-LOOP」に、AI カメラとモニターを設置した実証実験を共同研究として実施します。

● 実証実験について

これまでのリユース品回収ボックスでは、回収品の総重量以外の詳細情報が把握できなかったほか、回収対象外の不要品等が混入するという課題がありました。

本実証実験では、AI による「モノの可視化」や誤投函の検知と、モニターを通じた楽しい体験を組み合わせることで、これらの課題を解決し、市民が楽しく積極的に参加できる持続可能な資源循環の仕組みづくりと新たな価値創出を目指します。

(1) 主な内容

○ AI カメラによる投函物の自動撮影・データ収集

投函されたアイテムをカメラで撮影し、AI が品目や状態を自動で解析・データ化「どんなモノがどれくらい集まっているか」を正確に把握し、今後の資源循環施策やデータ活用に繋がります。

○ モニターを通じたユーザーへの楽しいフィードバック

投函されたアイテムに応じたメッセージの表示といった演出など、市民の皆様が「楽しく参加できる」様々なコンテンツを提供します。

○ 「まちのコイン」との連携による参加促進

回収対象物を投函された方に「まちのコイン」の二次元コードを発行し、地域コミュニティや環境活動への参加をさらに促進します。

(2) 実施スケジュール

令和8年10月26日（月）～令和9年3月末（予定）

AI カメラシステム稼働、ボックス設置による現地でのデータ収集等の実施

得られたデータの分析や検証等の実施

(3) 設置場所

相模原市役所本庁舎本館1階

けやき会館1階



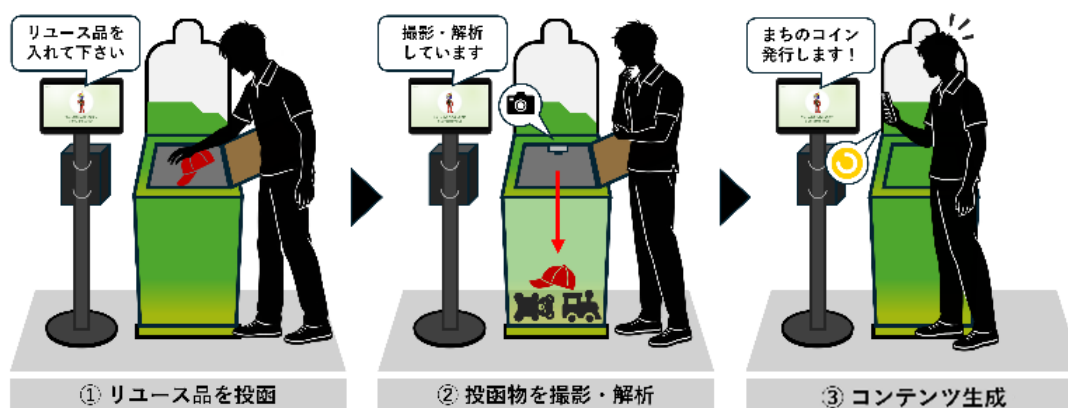
R-LOOP

リユース品回収ボックス「R-LOOP」^{アールループ}とは

ブックオフコーポレーション株式会社と、繊維製品の回収・再生の循環プラットフォーム「BIOLOGIC LOOP（ビオロジックループ）」を運営する株式会社 BPLab が共同運営し、生活者が使用して要らなくなった衣料品・雑貨を回収する資源循環のための新しいプラットフォームです。

生活者に“捨てない選択”という新たなライフスタイルを提供します。

体験・設置イメージ



(4) イベント出展

令和8年10月25日(日)に開催するさがみはら4Rフェアにて、AIカメラシステムを搭載したR-L00Pのお披露目、デモ体験を実施します。

- 開催日 令和8年10月25日(日) 午前10時30分から午後3時30分まで
- 会場 アリオ橋本グランドガーデン(緑区大山町1-22)
- 主催 さがみはら4Rフェア実行委員会、相模原市
- イベントの詳細は、次のHPをご覧ください。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/1026489/recycle/1026496/1013626/1013631.html>

(5) 取材について

取材を希望される場合、さがみはら4Rフェアは直接現地にお越しください。

10月26日から市役所本庁舎等で実施する実証実験については、問合せ先へご連絡ください。

※共同研究について

本共同研究は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」(地域の大学を中心に、自治体・企業・市民の産学官民で連携し「ありたい社会像」(ビジョン)に向けてバックキャストした研究開発や拠点づくりを行う支援プログラム)に採択されている、慶應義塾大学を代表機関とする「リスペクトでつながる『共生アップサイクル社会』共創拠点」からの提案を踏まえて実施するものです。

本市は、「リスペクトでつながる『共生アップサイクル社会』共創拠点」内の「デジタル駆動 超資源循環参加型社会共創コンソーシアム」(代表者:田中浩也氏/慶應義塾大学環境情報学部教授)に参画しています。

※まちのコインについて

地域において活動を行うことなどによりポイントが付与され、貯めたポイントを活用して様々な体験ができるスマートフォン用アプリ。本市では「すもー」として運用しています。

17 パートナシップで
目標を達成しよう



問合せ

本共同研究、COI-NEXT、まちのコインに関すること
みんなのSDGs推進課
電話 042-769-9224

R-L00P、さがみはら4Rフェアに関すること
資源循環推進課
電話 042-769-8245